



2021年8月 おすすめえほん

うみのえほん

心がおどる夏の海。海は広いな大きいな♪
絵本をひらくと…そこにも海が一。

西条市立西条図書館



『ふたりだけのとっておきのいちにち』

ヘレン・ダンモア／作 レベッカ・コップ／絵 三辺 律子／訳 文溪堂
リンの住む海辺の町に、毎年夏になるとロビーがやってきます。やがてお別れの日がきますが、離れたくないふたりは、こっそりボートにもぐりこんで…。潮の香りがする町を舞台に、心おどる、ちょっと不思議な物語。



『なみ』

スージー・リー／作 講談社

小さな女の子と波との追いかっけこ。よせてはかえす波との、無心の遊び…。青と白の2色で描いた絵だけで、夏の海のきらめきやざわめきを表現した絵本。



『おーなみこなみざぶん!』

長野 ヒデ子／作 西村 繁男／絵 佼成出版社

「おーなみ、こなみ、かーぜがふいたら、まわりましょ」ぎんぎら笑う、なみがざぶん! みんなで行く海は楽しいな。親子で歌って踊って遊べる絵本。巻末に楽譜付き。



『ふねくんのたび』

石川 浩二／作・絵 ポプラ社

ふねくんは、小さな町で人や荷物を運んで暮らしています。ある日、手紙を届けることになりました。行き先は、ふねくんがまだ行ったことのない大きな港町。ちゃんとたどり着けるかな? 最後にはページがひろがるしかけ付き。



『青いやドカリ』

村上 康成／作・絵 徳間書店

毎日男の子がやってくる。海にもぐってみたいけど、ちょっぴりこわい…のかい? ほら、ゆうきをだして! ようこそ海へ。



『かにこちゃん』

きしだ えりこ／さく ほりうち せいいちん／え くもん出版
片方の爪がとくに大きい、シオマネキというカニの子、かにこちゃん。海が大好きなかにこちゃんの1日を、鮮やかな色彩と、楽しく美しいことばで描く絵本。



『海へのあさ』

ロバート・マックロスキー／文・絵 石井 桃子／訳 岩波書店

朝サリーが目さますと、歯が1本ぬけかかっている、気がかりでたまりません……。すばらしい大自然と一体になって小さい島で暮す、幼い姉妹のいる一家のおおらかな生活をゆったりと描きます。



『うみざざざ』

ひがし なおこ／さく きうち たつろう／え くもん出版
波がさくさく、ざざーん、ざざざざ、ざわざわ、ぷっかりこ。子どもが、砂浜で遊んだり、海に浮かんだりして、夏の一日を楽しみます。海を体験する子どもの感覚を表現した絵本。